

研究の成果を一刻も早く 患者さんにお届けすることを目指す

国立研究開発法人
日本医療研究開発機構 (AMED)
疾患基礎研究事業部
疾患基礎研究課 課長

大塚 和子
OTSUKA Kazuko

平成12年入省。本省の医薬・生活衛生局では輸出入品を含む食肉や水産食品の安全施策を、結核感染症課では感染症医療分野を、検疫所では輸入食品監視業務を担当。出向先の食品安全委員会では食品に係るリスク評価を担当。令和3年より現職。



AMED は、医療分野の研究開発の基礎から実用化まで一貫して推進する資金配分機関です。私が所属する部では、基礎研究の成果を臨床研究に結びつけ、より大きな成果を一刻も早く創出することを目指しています。例えば、脳機能、免疫、老化等の生命現象の機能の解明や、がん、希少疾患、生活習慣病、免疫アレルギー疾患、精神・神経疾患、感染症等の様々

な疾患メカニズムの解明など、幅広い分野において戦略的に研究費を配分し進捗管理を行っています。また、海外の資金配分機関等との協力の下、各疾患をテーマとしたワークショップを開催し、専門家間の交流・議論を行い、国際的な研究ネットワークの構築や共同研究の推進にも取り組んでいます。

印象に残っている仕事・人・できごと

漁船に乗って沖の養殖場まで行って EU からの査察に対する準備や、モンゴルやコロンビアなど海外各地に行って経済連携協定の交渉をしたこと、食品を輸出入する外国での現地調査や協議をしたこと、最近では米国国立衛生研究所で医療研究の議論を行ったことなど、専門知識を活かして幅広く活動しました。